

科目名称	人体のしくみと働きⅡ(排泄・体温調整・神経・感覚)	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期		29
担当教員	宮脇 恭史	授業に関わる実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有(衛生検査技師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

正常な人体の構造と機能を理解することで、器質的・機能的障害を理解するための一助とする。

【2】 学習目標

1. 内分泌系の機能を説明できる。
2. 月経周期を説明できる。
3. 神経系の構造や機能を説明できる。
4. 感覚器系の構造や機能を説明できる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
 - 1. 人間を生活者として捉えることができる。
 - 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
 - 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
 - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
 - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
 - 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
 - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
 - 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
 - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	内分泌系の構造と機能1	講義
2	内分泌系の構造と機能2	講義
3	内分泌系の構造と機能3	講義
4	体温	講義
5	泌尿生殖器の構造と機能1	講義
6	泌尿生殖器の構造と機能2	講義
7	泌尿生殖器の構造と機能3	講義
8	中枢神経系の構造と機能1	講義
9	中枢神経系の構造と機能2	講義
10	末梢神経系の構造と機能	講義
11	自律神経系の構造と機能	講義
12	運動と感覚の伝導路	講義
13	特殊感覚器の構造と機能	講義
14	体性感覚期の構造と機能	講義
15	試験	筆記試験

【5】 評価方法

筆記試験

【6】 教科書

橋本尚詞 田村 敦子著 「看護学入門 1 人体のしくみと働き」 第5版 メヂカルフレンド社 2025年

【7】 参考書

資料配布

【8】 受講生へのメッセージ